



旅で紐解く直虎公の物語

其の五 井伊家菩提寺

## 龍潭寺

天平5年(733)、行基菩薩の開基と伝えられる古刹。御朱印地96石の由緒を残す1万余坪の境内地に立つ堂塔六棟は、いずれも江戸時代の建造物として県の有形文化財に指定されている。有名な国指定名勝記念物の小堀遠州作の庭園をはじめ、数多くの国指定および県指定の文化財を所蔵している。

浜松市北区引佐町井伊谷1989 9:00~16:30  
(8月15日、12月22~27日は休み) 料金/大人500円、小中学生200円 交通/JR浜松駅から遠鉄バス渋川行き約45分「井伊谷宮前」下車 奥山行き約45分「神宮寺」下車徒歩5分 天竜浜名湖鉄道「金指駅」より車で約5分



井伊家初代・共保公が出生した伝説がある井戸。傍らに橋が咲いていたため家紋としたという

龍潭寺本堂は県指定文化財。井伊家菩提寺として千年余り井伊家40代の祖霊をまつる

# 人生を刻んだ寺

山門を一步くぐると古刹ならではの静けさに包まれる。まるで流転する歴史と直虎公の人生の物語へと誘われるように感じられる。

次々に襲う悲劇を耐えて

乱世の渦の中、幼い直虎公は許婚の直親公と生き別れとなる。直虎公は出家を決定するが、俗世に戻れない尼僧名に父・直盛公が反対したため、師である南溪和尚の智恵で「次郎法師」と名乗った。

しかし修行中の直虎公を、桶狭間での父の討ち死に、直親公謀殺、曾祖父・直平公の落命など、次々に悲劇が襲う。井伊家を継ぐ男衆が不在となった危機に、直虎公は女性ながら領主となる決断をする。

女領主として未来を開く

その直後、今川氏から徳政令の命が下る。経済基盤を崩す圧力だ。直虎公は損失を抑えるため約3年



龍潭寺境内にある井伊家墓所。正面に初代・共保公と、直虎公の父・直盛公の墓石。直虎公の墓石は、現世では結ばれなかった許婚の直親公と母に挟まれるようにしてまつられている

これを阻止。だが強制発布され直虎公は領主の座を追われる。直虎公が龍潭寺内の庵「松岳院」に居を移した1カ月後、家康公が遠江に侵攻し今川氏は滅亡。そして直虎公が庇護した直親公の忘れ形見、虎松が家康公に仕官し出世頭となる。井伊家復興を見届けるように直虎公は松岳院で生涯を終えた。

直虎  
新商品

### 龍潭寺もなか

1個 186円 4個箱入り 862円

最中の皮は井伊家の井桁紋を浮き彫りにした特注品。中餡につぶ餡、黄金餡(白つぶ)の2種類を取り揃えている。小袋には井伊家由来の赤備え甲冑と、戦陣にたなびいた井桁紋の旗印をデザイン。包装紙には井伊家橋紋を描き出している。

【製造元】有限会社あおい 浜松市東区有玉北町1593  
TEL 053-435-3365 <http://www.aoikasi.jp/>

【取扱店】あおい(有玉本店・葵東店)、龍潭寺、東海キヨスク(浜松)、イオン、田園空間博物館総合案内所など

